

# 高雄日本人学校の風

校長 高口和治

31日分で書いた、1年生のペットボトルでの実験が判明しました。実は、ペットボトルで水と空気との関係を体験的にさせているのだそうです。もともと生活科は、1・2年生で総合的な学習の時間を意識して理科と社会科の要素を入れ生活科としてスタートしました。ペットボトルの実験は、物理を体験的に、そして、系統的にということです。中学校では水圧や空気圧などの学習につながっていくのだそうです。「体験と言葉」が結びつかないと物事を考える言語が育たないということを言い続けています。上の学年にいくに従って、記号化されたり、抽象化されたり、一般化されたりという授業内容になっています。さらに、いうと、会話ができて論理的に考え、表現できるのとは違うことも一般的に言われています。興味やそれまでの経験から理科系が得意とか文化系が得意というように既成の枠組の中で進路がきまってしまうのが多くの場合です。現在では、専門だけ知っていてもうまくいかないという反省があり、大学教育でもリベラルアーツという、専門だけでなく、様々な分野を学ぶという学部も出てきています。

## 9月5日 (月)

中秋節の挨拶まわりという習慣があるのだそうです。学校がお世話になっている機関に行ってきました。・学校の所有者の南和興産（ずいぶん金銭的に無理をきいてもらっています）・交流協会（もちろん、日本の代表機関、日本人学校の担当者もいます。所長さんも以前別の公館で日本人学校担当だったそうでいつも気にしてくださっています）・教育局長（高雄市政府の教育局です。私たちの学校は、台湾から外僑学校として認められ、台湾の法に守られながら、日本の法と合わせて運営されています。）

## 9月6日 (火)

プールでは「パーン」という音が響いています。明日の水泳記録会の練習です。かなり気合いが入った練習です。また、昼休みには式典を担当する子どもたちが、中島、藤重先生の指導で一生懸命リハーサルをしていました。

## 9月7日 (水)

校内水泳記録会が開催されました。小1～小4の部では、プール開きではおっかなびっくり歩いていた子どももちゃんと泳いでいました。すごいですね。小5～中3までの部では、200m以上も泳いだ生徒もいて迫力がありました。

今朝の校門前での様子は気合いが入っている様子で「今日は、13mと25mに出るんだよ」と報告する子どももいました。8時前には、着替えて学級の前で気合いを入れていた学年がいくつもありました。

## 9月8日 (木)

・鹽理國中（中学部との交流があります。12月9日の交流会の話を少ししてきました）  
・警察局外事科（何か変わったことがあったら連絡をしてもらったり、学校が事故に巻き込まれたりした場合には、相談に行くところです。この半年一度もそういうことがありませんでした。日本語ができる職員もいるとのこと。）・移民署（ご家族でもかなり相談に行った方もあります。学校職員は居留事由として、高雄市日僑学校で働くという証明書をもらい、中華民国の居留証を発行してもらっています）

## 9月9日 (金)

・警察三民分局（学校の安全を確認してもらっています。1日に何回も学校の見回りをしてきています。夜も来ているという報告をうけています。今年は、一度も異常はありません。過去には侵入者もいたとのこと）・高雄師範大学附属小学校（交流もあるのですが、ふだんあまり顔を合わせないので行ってきました。今年から中学校でも第2外国語を日本語にしたとお話がありました。校長先生も替わったばかりでした）

挨拶回りから帰ってしばらくすると、中庭に1年生が出てきました。文旦の皮を頭に被っていました。「校長先生、蚊よけになるんだよ」などと言い、中田先生も文旦をかぶり記念写真、ぱちり。教室をのぞくと、月見、焼き肉、爆竹の絵と中国語が黒板に貼ってありました。曾先生が、絵や中国語の単語を黒板に貼りながら説明をしてくれたとのこと。今度はなにやら小2がプールでペットボトルを使って始めました。報告は、次週。

○中庭をながめていたら、木に黄色い花らしきものが着いているのに初めて気がつきました。暑くても季節が少しずつ変化しています。

○プール開放が終わりました。今週の日曜は36名もきて泳いでいたとのこと。水泳記録会に向けて頑張っていたと教頭から報告がありました。（監視員にお支払いする日当分を、赤字になったら日本人会から補填をもらうことにしていました。黒字になりましたので、消耗品費にするか来年用にとっておくかはこれから検討します）

## 9月12日は中秋節で祝日

農歴8月15日のことで、古代中国の帝王が秋の季節にお月様を祭る礼から由来しています。月餅を食べたり、月を楽しんだり、特に台湾ではバベキューを楽しんでいるとのこと。この日に散っている家族が顔を合わせ、一家団らんを楽しむという性格も強くあるのです。

